

2024年6月25日

【進行性核上性麻痺】と【大脳皮質基底核症候群】の 【検査・治療】のために当院に入院・通院していた

患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、大槻美佳までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

【進行性核上性麻痺】と【大脳皮質基底核症候群】の【検査・治療】のため【通院または入院】した方

2 研究課題名

発語失行を合併する PSP と CBS と naPPA の発話の比較

3 研究実施機関

北海道大学

4 本研究の意義、目的、方法

PSP または CBS は発語失行と結びつきが強いことがわかっていますが、そのほとんどは発語失行が初発かつ主症状となります。一方、少ないながら、パーキンソニズムで発症したのち、経過中に発語失行が合併する一群が存在します。このような一群の経過は未だ明らかになっていません。われわれはこのような一群の特徴を明らかにすることを目的としています。

本研究では、1992年1月～研究承認日までに大槻美佳または赤池瞬の診察で受けた神経心理検査の成績および音声データ、画像データを使用させていただきます。

5 協力をお願いする内容

本研究では患者さんの診療内容を確認し、必要な項目のみを抽出して、上に挙げたような解析に使用させていただきます。そのため患者様には治療以外の余計な費用はかからず、追加の検査などが施行されることもないため、一切のご負担はございません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後～2027年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で得られたデータは仮名加工情報、削除情報等に変更し、個人の特定がむずかしい状態にしたうえで補完いたします。
- 2) 本研究で得られたデータの保管は研究代表者の所属機関で一括して、暗号化が可能な外付けの記録媒体に保存し、鍵のかかる研究室内のキャビネットに保管し厳重に管理します。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人

情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究結果を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者の方に不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにしたうえで、学会発表や学術雑誌等で公表します。なお、あなたへの謝金はございません。この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 5 丁目

研究責任者:北海道大学大学院保健科学研究院 准教授 大槻美佳

TEL011-716-2111 (北海道大学代表)

E-mail:steroideb612@pop.med.hokudai.ac.jp